

基本理念

生物多様性を保全し、
そのめぐみを将来にわたって
享受することができる、
自然と共生するまち「ひだたかやま」

- **共生** 人を含めたすべてのいのちの共生
- **循環** 多様なめぐみをもたらす
いのちの循環
- **参加** いのちをはぐくみ、
尊重するまちづくりへの参加

戦略の理念は共生・循環・参加

自然と知恵受け継ぐ 1000年計画

生物多様性
ひだたかやま戦略を策定

私たちの生活や文化は、生物多様性の恩恵を受けて成り立っていますが、自然豊かな高山市にあっても、人間活動や外来生物、地球温暖化などにより生物多様性が損なわれつつあります。

市では、こうした課題に対処するため、高山市の地域特性や実情に合わせた「生物多様性ひだたかやま戦略」を策定しました。中部地方の自治体では初の策定となります。

互いにつながり 支えあう生物

「生物多様性」とは、すべての生物の間に違いがあることを指しており、生態系、種、遺伝子の3つのレベルがあるといわれます。地球に生命が誕生して40億年、生物は長い進化の過程で、大気中の酸素や豊かな土壌を生み出してきました。

3千万種ともいわれる生物は、私たち人間も含め、互いにつながりあい支えあっているのです。

なぜ必要なの？ 生物多様性

人類によりひき起こされた生物の絶滅速度は、自然状態の約100～1000倍という報告もある。

り、生物の一種である人間が、地球全体の生物多様性を壊しているといわれます。

私たちは、生命の源である水や空気など、あらゆる面で自然の恵みを受けて生活していますが、将来の豊かな暮らしのためにも、生物多様性を損なうことがないよう、適切に保全していく必要があります。

生物多様性の恩恵は、地球共通の目標として掲げられるほど、私たちの暮らしになくてはならない重要なものとなっているのです。

1000年後も 自然豊かな高山で

飛驒の先人は、飛驒の気候や風土を舞台に、自然を巧みに活かして豊かな暮らしを築いてきました。

た。しかし、科学技術の進歩や経済発展の中で損なわれている面もあります。

自然の生態系が移り変わる際にはとても長い時間を視野に置く必要があります。そこでこの戦略の目標期間は1000年とし、先人から受けついで豊かな自然とそれを利用する知恵を未来につなげていくため、自然資源の持続可能な利用をすすめる、保全と利用の両方を重視したまちづくりをすすめていきます。

市では今後、行動計画を策定して戦略の推進を図ります。

問合先

地域政策課
351335224